

上山みらいの学校づくり市民説明会で出された主な意見（総括・概要）

1 説明会の開催趣旨

上山市みらいの学校構想検討委員会による最新の検討内容である「上山市みらいの学校構想（案）」を市民に説明し、いただいた意見を今後の協議の参考とするため。

特に、構想（案）「第4章 今後の取組の方向性として」の主題となる「学校統廃合」について、学校名を記載した統合パターンを初めて市民に示したうえで意見を集約した。

（1）開催回数（会場） 5回（各小学校、上山市役所）

（2）参加人数 55人、アンケート件数 27件

日時	会場	参加人数	アンケート件数
9月30日（火）18:30～	上山小学校 体育館	9人	6件
10月2日（木）18:30～	南小学校 体育館	13人	10件
10月5日（日）10:00～	上山市役所 401会議室	7人	2件
10月7日（火）18:30～	宮川小学校 体育館	10人	4件
10月9日（木）18:30～	中川小学校 体育館	16人	5件
合計		55人	27件

2 市民説明会で出された市民の意見と「上山市みらいの学校構想（案）」との関係

（1）構想（案）と合致する意見

■望ましい教育内容・学校環境 ※説明会資料 P13-17

■望ましい1つの学年の学級数、1学級あたりの児童生徒数 ※説明会資料 P18-21

■学校統廃合（望ましい教育・学校環境の実現方法）※説明会資料 P22-29

① 統合の必要性

② スピード感

③ 多数の関係者が生じるなかでも、保護者意見を尊重

④ 小中学校ともにクラス替えができる各学年3学級、1学級25人程度を望む

⑤ 複式学級の解消

⑥ 児童数の予測から小学校は最終的に1校統合が、望ましい教育の実現のために必要

⑦ 中学校は老朽化の進行、望ましい教育の実現のため新設での1校統合を望む。

⑧ 統合時の配慮（児童生徒への配慮、安全な通学確保、地域学習の充実等）

⑨ 統合を良い機会と捉え、子ども達が夢を持てる良い学校環境の実現を望む。

⑩ 財政負担等、投資を集中し無駄のないように計画して欲しい。

⇒ 「上山市みらいの学校構想（案）」の方向性と市民の意見は合致。

（望ましい教育内容・学校環境、学校統廃合等への反対意見はなし）

(2) 市民が、より詳細な説明を望んでいる1内容と2対応

1 検討委員会の答申に基づき、上山市が令和8年度に具体化する内容

特に保護者は、今後の子どもの将来を考えるために具体的な説明を求めている。

① どのように	・統合方式（段階的/一括）の最適化・具体化 ・複式学級の解消策 ・子ども達の事前交流・配慮内容 ・通学時の安全確保・通学方法 等
② いつ	・学校統合・複式学級解消の早期化（スピード感） ・統合時期と具体的スケジュールの提示 等
③ どこに	・統合先の学校 ・新設統合する場合の場所 等
④ どんな	・教育内容・教育の質の確保（小中一貫教育の導入、教職員体制〔小学校における教科担任制等〕、地域学習カリキュラム） ・新設統合する場合の学校整備内容・学校規模 等
⑤ いくら	・新設統合する場合の建設費用、無駄のない財政運営 等

＜参考＞ 令和7年度 本検討委員会が「上山市みらいの学校構想」を教育長に答申
令和8年度 上山市が答申の実現に向けた協議を進める（答申の具体化）

2 当事者意識の醸成、意見交換の機会の確保

- ① みらいの学校構想は今後の上山の子ども達に関わる大変重要な内容。
- ② 多くの保護者・市民等で情報を共有、当事者意識を醸成する必要がある。

(3) 検討委員会で協議の参考とすべき意見

■中川小学校で、複式学級の早期解消を求める意見が多数あること

- ①一刻、一日でも早い解消を望む ②教育内容、教育機会の平等を望む
⇒ 多様な人間関係と活動内容、通常学級との学力差、体力差を実感

第6回 資料5構想（最終案）（黄色部分）P13 3 学力向上・教育の質の確保

※「統合しても8～15人くらいの人数が良い」という意見

第5回委員会資料3協議経過（論点）の整理 「望ましい学級人数」からも困難

① 複式学級解消との矛盾 ②山形「さんさん」プラン下限18人未満の設定

■小中一貫教育の導入、小中学校併設1校の新設を望む意見が多数あったこと

第6回 資料5構想（最終案）（黄色部分）

P17・18 理由①望ましい学校規模の達成による望ましい教育内容の実現

P20 学校の統廃合を進めるうえでの配慮事項（10）小中一貫教育の導入の検討

■特別支援教育に係る教室数・設備面を考慮した検討を望む意見があったこと

第6回 資料5構想（最終案）（黄色部分）P13 誰一人とり残さない安全・安心な教育

P14 心身ともに安全・安心で快適な学習環境